



# ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

No.100  
August 2019

応用地域学会ニュースレター

## CONTENTS

1. 新会長就任あいさつ
2. 副会長選挙の結果
3. 運営幹事等役員の選任
4. 第33回研究発表大会のご案内
5. 2019年度坂下賞候補者の推薦
6. 第10回アジア地域科学セミナーのご案内
7. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集
8. 2018年度学会決算(概要)
9. 2019年度第1回運営委員会報告(概要)
10. 事務局だより

## 1. 新会長就任あいさつ 「選ばれる学会へ」

ARSC 第17代会長 大澤 義明

本年の4月から2年間の予定で、応用地域学会会長を務めさせて頂いております。どうぞ宜しくお願いいたします。私は筑波大学出身であり、坂下昇先生（初代会長）、目良浩二先生（第2代会長）、金本良嗣先生（第8代会長）、田淵隆俊先生（第12代会長）、中村良平先生（第14代会長）から学生時代より薫陶を受けました。また、学会大会や大学開催ワークショップでは、佐々木公明先生（第5代会長）、黒田達朗先生（第13代会長）からいつも親身なご指導を頂きました。したがって、このような会長職を拝命したことは、たいへん名誉であります。会員皆様のご指導のもと、学会発展のため尽力したいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、我が国のほとんどの地方自治体では、人口減少、高齢化、財政難という難易度の高い社会課題と直面しております。「箱物」整備など右肩上がり時代の政策が通用しなくなってきております。発足し32年が経つ本学会も、会員減、会員高齢化、厳しい財政運営と同様な課題に直面しております。昨年の総会にて、これまで数多くの優れた研究成果を発信してきた本学会の国際誌RURDS（Review of Urban and Regional Development Studies）の廃刊が決まりました。廃刊により学会の財政状況は改善されましたが、確実に進行している会員減少・高齢化の下では学会の持続が危ぶまれます。

アカデミアと産業界・行政との間での好循環形成が考えられます。第4次産業革命, Society 5.0, スマートシティ・スーパーシティという時代の変化に呼応し, AI やビッグデータなどテクノロジーとの向き合い方を工夫すれば, エビデンスに基づいた政策立案を重視する応用地域学会には追い風になります。地方では地元企業の生産性向上などマーケットベースを意識した構造変換が求められております。市場原理を重視する学会の特性を活かすことで, 自治体や企業が学会の役割を認識し産官学連携研究が促進されるでしょう。

地域を牽引する行政・民間の中間人材の高度化が求められております。工学系と社会科学系両者が共存する本学会を「社会人学び直し(リカレント教育)」の受け皿として位置づけることも選択肢の一つです。学会発表などで社会人教育効果が高まれば, 会員増強につながるだけでなく学会内のダイバーシティが加速されるかも知れません。

今秋開催の佐賀大会では, 若い世代を応援するため最優秀学生論文賞を新設します。「多くの研究者に選ばれる学会」となるためにも, 総会では, 学会活動に関して従来の延長線上にない大胆なご意見やご提案を頂ければ幸いです。

## 2. 副会長選挙の結果

選挙管理委員 織田澤 利守(神戸大学)  
森田 忠士(近畿大学)

応用地域学会副会長選挙は, 2019年3月15日締め切りで実施されました。開票集計は, 3月24日に選挙管理委員と事務局で行われました。結果は以下の通り, 総投票数139票の内, 64票を獲得された奥村誠先生(東北大学)が当選されました。2019年4月1日~2021年3月31日までの2年間, 副会長にご就任いただきます。

投票総数	139票(無効票 0票)
奥村 誠(東北大学)	64票

## 3. 運営幹事等役員の選任

ARSC 事務局

新しい会長のもと, 運営委員会が2019年6月29日(東京)に開催され, 以下のように2019年度の運営幹事等の役員, 委員会委員等が選任, 又は任命されました。(下線が今回の新任, 敬称略・順不同)

## 2019年度 ARSC 役員等

### ○運営幹事（規程無）

- ・事務局業務の幹事業務を担う。

<2018・2019>

総務（会員の入退会）	浜口 伸明（神戸大学）
会計（決算，予算）	石倉 智樹（首都大学東京）
渉外（ニュースレター）	曾 道智（東北大学）

### ○監査委員（会則第9条3項）

- ・運営委員会が個人会員の中から委嘱する（2名）。（任期の規程無）

<2019・2020>

米本 清（高崎経済大学）  
田村 一軌（アジア成長研究所）

### ○選挙管理委員（選挙内規第3条）

- ・会長が指名する（2名）。（任期の規程無）

<2019・2020>

猪原 龍介（亜細亜大学）  
宮川 雅志（山梨大学）

### ○大会プログラム委員会（規程無）

- ・運営委員会が選出し，委員長を指名する。（開催大学・委員長の意向により委員の増減あり）

<2019年度(佐賀大学)>

委員長 中島 賢太郎（一橋大学）  
委員 伊藤 亮（東北大学），高山 雄貴（金沢大学），瀬谷 創（神戸大学）  
亀山 嘉大（佐賀大学），小林 隆史（立正大学）

### ○坂下賞選考委員会（2004年度～）

<坂下賞選考規程> [選考委員会] 第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は，5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。[選考委員の任期] 第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし，連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は，毎年1人が新任となり，1人が退任する。会長及び副会長については，その在任期間を任期とする。

<2019年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 村田 安寧（日本大学 3年目）  
委員 松島 格也（京都大学 2年目），森 知也（京都大学 1年目）  
大澤 義明（ARSC会長），奥村 誠（ARSC副会長）

## ○応用地域学会論文賞（Best Paper Award of ARSC）選考委員会

<応用地域学会論文賞選考規程>

[選考委員会] 第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。

委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期] 第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2019 年度選考委員会>

委員長 河野 達仁（東北大学 3年目）

委員 浅田 義久（日本大学 2年目），城所 幸弘（政策研究大学院大学 1年目）

大澤 義明（ARSC 会長），奥村 誠（ARSC 副会長）

## 4. 第 33 回研究発表大会のご案内

第 33 回研究発表大会実行委員長 亀山 嘉大（佐賀大学）

2019 年度大会は、下記の要領のもと、佐賀大学の主催で開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。会員の皆様に奮ってご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

### (1)大会概要

- ① 期 日 2019 年 11 月 23 日（土・祝），24 日（日）  
（総会・懇親会は 11 月 23 日（土・祝））
- ② 会 場 佐賀大学本庄キャンパス（佐賀市本庄町 1）：<http://www.saga-u.ac.jp/access/index.html>  
懇親会場：佐嘉神社記念館（佐賀市松原 2-10-43）：<http://sagajinja.jp/kinenkan/>
- ③ 大会ホームページ：<https://sites.google.com/view/arsc2019saga/home>
- ④ 大会参加費：正会員 3,000 円，非会員 5,000 円，学生 1,000 円（正会員，非会員とも）  
なお、懇親会費は一般 5,000 円，学生 2,000 円

\* 宿泊施設は定常的に混雑していますので、各自でなるべく早くご予約下さい。

\* 今大会は、各種の申し込みを一本化して Google フォームから入力する形式になっています。メールアドレスと会員番号で認証して、入力を進める形式です。詳細は、大会ホームページをご覧の上、各種の申し込みは、大会ホームページ内に埋設した「**参加申し込みフォーム**

（<https://sites.google.com/view/arsc2019saga/registration/form>）」をご使用ください。ご不明な点

がありましたら、第33回研究発表大会事務局（E-mail：arscsaga2019@gmail.com）へご連絡ください。

## (2)セッション構成

- 研究発表大会では、下記セッションを開催いたします。

一般 セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い論題でのセッションです。広くは地域、都市、交通、環境、国際に関する諸問題が対象になりますが、広い意味でこれらの問題と関係する研究報告を歓迎しております。参考として下記のキーワードを挙げておきますが、これらに縛られることなく、ARSCにとって関連ある論題を積極的にご報告ください。</li> <li>《キーワード》成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画、都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政、都市交通、混雑税、交通需要マネジメント（TDM）、航空・港湾、投資評価、物流、通信、影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災、開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税</li> </ul>
Early Bird セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が報告するセッションです。</li> <li>単著論文に限らず、ARSCの将来を担う若手研究者が主体的に取り組んだ研究報告を期待します。なお、本セッションに限り、共著者による代理報告は認められません。</li> </ul>
特定 セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（これまでに「新しい産官学連携のあり方ー筑波大学での革新的取り組みー」、「沖縄県の経済振興を考える」、「少子高齢社会の社会保障・教育・環境」、「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組まれました）。</li> <li><u>地方創生やスマートシティなど、佐賀ならではの時代に合ったセッション企画を募集しております。</u>オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。</li> </ul>
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。</li> <li>このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。</li> <li>賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの<u>企画提案をお待ちしております。</u></li> </ul>

## (3)「一般セッション」と「Early Bird セッション」の発表申し込み

### ① 発表者の条件 **ARSC 会員であること**

※非会員の場合は発表申込までに入会手続きを行ってください。

### ② 発表申込期限 **2019年9月15日（日）必着**

### ③ 発表申込み（申し込み方法，申し込み先）

前項（1）で述べましたように，今大会では，大会ホームページ内の「参加申し込みフォーム（<https://sites.google.com/view/arssc2019saga/registration/form>）」をご使用いただき，下記にある a～h の各項目を入力して発表申し込みをしてください。

a.発表者氏名・所属

b.連名者氏名・所属

c.発表者の E-mail アドレスと会員番号（入会申請中の方は「0000」で対応）

d.発表題目（和・英のいずれか）

e.要旨（和文 200 字，英文 100 語程度。いずれかを記載）

f.発表時の使用言語（日本語または英語）

g.希望討論者（候補者 2 名まで）

※希望討論者は最低限 1 名を必ずご記入下さい。候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h.発表区分（「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項 (4)を参照）

※佐賀大会から「最優秀学生論文賞」を創設します。Early Bird セッション発表論文のうち，学生あるいは学生のみでの連名による論文が審査対象になります。詳細は，大会ホームページ内の最優秀学生論文賞の要項をご覧ください。

### (4)「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」の企画の募集と発表申込み

・「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については，広く会員各位からの企画提案を募集しています。

- ・ **2019 年 9 月 15 日（日）までに企画提案をお送りください。**「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」の発表申し込みに関し，大会ホームページ内の「参加申し込みフォーム（<https://sites.google.com/view/arssc2019saga/registration/form>）」に加えて，ワード自由書式による申し込みも可能とします。ただし，前項 (3) ③で挙げた項目を参考に，「特定セッション」や「シンクタンク・セッション」の全体像が分かるようにして申し込みください。ワード自由書式で申し込む場合，**第 33 回 研究発表大会事務局・兼プログラム委員会（E-mail：arscsaga2019@gmail.com）**までお送りください。

\*メールの件名は「arssc 特定 申込(申込者氏名)」

「arssc シンクタンク 申込(申込者氏名)」として下さい。

### (5)今後の予定

#### ① 大会プログラム

- ・ 10 月 18 日（金）を目途に確定し，大会ホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

## ② 発表原稿

・最終の発表原稿を 11月4日(月・祝)までに座長, 討論者, 大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

\*E-mail に添付して送られる場合は, 必ず PDF 形式にしてください。

\*大会事務局宛てのメールの件名は「**arsc 発表論文(名前)**」として下さい。

\*論文のファイル名は「**arsc 発表論文(名前).pdf**」として下さい。

(例 arsc 発表論文(鈴木一郎)など)

\*座長, 討論者の連絡先が分からないときは, 大会事務局にお問い合わせください。

・大会事務局に論文を PDF で送付していただければ, 大会 HP に報告論文をアップロードします。  
(アップロードの期間は本年中と限定します。) アップロードを希望しない場合は, メールにその旨を明記してください。

## ③ 発表者の準備

・発表会場には, 論文またはそれに準ずるもののコピーを 30 部程度ご持参ください。

・発表会場のプロジェクターは, HDMI, RGB の両方に接続できる体制で準備する予定です。ノート PC などをご持参ください。

## (6) 2019 年大会実行組織 (敬称略)

(敬称略)

大会実行委員会	委員長 亀山 嘉大 (佐賀大学) 委員 羽石 寛志 (佐賀大学), 田村 一軌 (アジア成長研究所) 小林 隆史 (立正大学)
プログラム委員会	委員長 中島 賢太郎 (一橋大学) 委員 伊藤 亮 (東北大学), 高山 雄貴 (金沢大学) 瀬谷 創 (神戸大学), 亀山 嘉大 (佐賀大学) 小林 隆史 (立正大学)
大会事務局・ お問い合わせ	〒840-8502 佐賀市本庄町 1 佐賀大学経済学部 亀山研究室 電話: 0952-28-8413 (経済学部総務) 内線 8447 E-mail: arscsaga2019@gmail.com

## 5. 2019 年度坂下賞候補者の推薦 (候補者を公募します)

坂下賞選考委員会委員長 村田 安寧 (日本大学)

応用地域学会では, 日本における地域科学の研究を発展させ, 当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち, 若い研究者を奨励することを目的として, 毎年 1 名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2019年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか（あるいは複数の領域）で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

### <募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者（候補者）1名につき、推薦者1名（自薦も可）

応募書類：推薦書（A4一枚：推薦書様式参照）および業績リスト（様式は任意）

締 切：2019年10月1日(火) 17時

(必着：事務局からの返信を確認してください)

宛 先：下記，ARSC事務局宛にPDFあるいはMS-Wordのファイルをメール添付で送付してください。

E-mail： clerk@arsc.org

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。応用地域学会総会(2019年11月23日，佐賀大学)にて，受賞者を発表・表彰いたします。

#### <2019年度坂下賞選考委員会委員>

委員長	村田 安寧	(日本大学)
委員	松島 格也	(京都大学)
委員	森 和也	(京都大学)
委員	大澤 義明	(ARSC会長)
委員	奥村 誠	(ARSC副会長)

## 6. 第10回アジア地域科学セミナーのご案内

### ARSC 事務局

アジア地域科学セミナーは、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会（ARSC）、台湾地域学会（CRSA）、中国地域学会（RSAC）、韓国地域学会（KRSA）が共催して行い、第2回より、各国持ち回り開催となっております。（第2回は日本（ARSC）、第3回は台湾（CRSA）、第4回は韓国（KRSA）、第5回は中国（RSAC）、第6回は日本（ARSC）、第7回は台湾（CRSA）、第8回は韓国（KRSA）、第9回は中国（RSAC）が主催しました。

第10回アジア地域科学セミナーは、2020年10月9日（金）～11日（日）、応用地域学会の主催で筑波大学を幹事校としてつくば国際会議場で開催されます。詳細をHPでご案内します。HPは開設され次第お知らせいたします。

#### \* 日程

2020年10月9日(金)～11日(日)



10/9(金) 13:00～17:00, オープニングセレモニー (18:00～20:00)

10/10(土) 9:00～17:00, 懇親会 (18:00～20:00)

10/11(日) 9:00～12:00

#### \*開催場所

つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園2丁目20-3)

#### \*お問い合わせ

堤盛人 (実行委員長・筑波大学) [tsutsumi@sk.tsukuba.ac.jp](mailto:tsutsumi@sk.tsukuba.ac.jp)

## 7. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長 堤 盛人 (筑波大学)

「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けております。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。奮ってご投稿下さい。(http://www.arisc.org/をご参照ください。)

理論から実証まで幅広い研究論文をお待ちしております。様々な地域課題に関する問題解決型研究などの適時性に優れた論文のご投稿や、若い研究者によるご投稿も歓迎します。

1. 論文投稿の際、論文はできるだけ MS-Word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。宛先は、編集委員長です (e-mail : [journal@arisc.org](mailto:journal@arisc.org))。PDF ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は MS-Word 形式でお願いすることがあります。
2. 受付の確認を電子メールで送付いたします。投稿後 1 週間を過ぎても連絡が無い場合は、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。
3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行の約 1 年後に掲載論文を学会HPにて公開します。

#### 『応用地域学研究』に関する お問い合わせ先

応用地域学研究編集委員長 堤 盛人

〒305-8573 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学システム情報系 社会工学域  
TEL: 029(853)5007 FAX: 029(853)5070  
E-Mail: [journal@arisc.org](mailto:journal@arisc.org)

## 8. 2018 年度決算(概要)

会計担当運営幹事 石倉 智樹 (首都大学東京)

2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)学会決算(概要)案を以下のとおりご報告いたします。本決算結果は、監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、審議される予定です。なお監査委員は、米本清(高崎経済大学)及び田村一軌(アジア成長研究所)の両氏にお願いすることになりました(前掲)。(詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニュースレターに掲載します。)

2018年度は約96万円の赤字となり、繰越金は約275万となりました。これは2018年度の会費収入が前年度より130万ほど減少したこと、事務局移行に伴う一時的な支出があったことが主な要因です。2019年度はRURDSが電子版のみになるため支出が減る予定ですが、事務局移行に伴う一時的な支出が続き、また、2020年度はRURDSの刊行・購読費が不要になる一方で、アジア地域科学セミナー日本開催での費用が見込まれるため、当面は厳しい財政状況が続くと予想されます。今後、運営委員会では、会員の皆さまにとって有意義な学会運営となることを目指し検討を続けていくとともに、賛助会員の確保や会員増に努めてまいります。

### 2018 年度決算(案)概要 ( )内は 2017 年度

(単位:万円)

収 入		支 出	
繰越金	371 (259)	RURDS 購読	313 (314)
会費(国内, 国際, 賛助)	412 (544)	「応用地域学研究」刊行	54 (0)
その他(雑誌販売等)	1 (0)	大会開催補助	△8 (△12)
		国際会費	20 (22)
		事務費, その他	131(108)
収入合計	785 (803)	支出合計	510(432)
(繰越金を除く収入計)	414 (544)	繰越金	275(371)

## 9. 2019 年度第 1 回運営委員会報告 (概要)

ARSC 事務局

2019 年度第 1 回運営委員会が 6 月 29 日(土)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

### 議事要旨

## 1. 副会長選挙結果報告（前掲）

## 2. 運営幹事等役員の選任(2019 年度選任)

\* 監査委員，選挙管理委員，研究発表大会プログラム委員会（委員長・委員），坂下賞選考委員会（委員長・委員），応用地域学会論文賞選考委員会（委員長・委員）の各委員長・委員を選出した。

\*（2019 年度役員一覧は前掲）

## 3. 2018 年度決算と課題

\*2018 年度決算概要について報告された。(前掲)

## 4. 2019 年度坂下賞の選考（前掲）

\*例年どおりに，受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する（ニュースレターとホームページで公募を開始）ことが確認された。

## 5. 2019 年度応用地域学会論文賞の選考について

\*例年どおりに選考委員会で受賞論文を選考する。

## 6. ジャーナルの編集状況及び今後の方針

### ① 応用地域学研究

\*編集委員長 堤盛人先生より，No.22 の編集状況について報告された。

\*J-Stage 移行に向けた準備状況について報告された。

### ② RURDS

\*RURDS の編集と刊行は年内にて完全に終了する見込みであることが報告された。

## 7. 2019 年度研究発表大会（佐賀大学）の開催（前掲）

\*大会実行委員長の亀山嘉大先生（佐賀大学）より，大会準備状況が報告された。

\*参加費は昨年と同額。正会員 3,000 円，非会員 5,000 円，学生は会員・非会員に依らず 1,000 円とする。

\*懇親会費は，一般 5,000 円，学生 2,000 円とする。

\*スケジュール

- ・発表申込期限：9 月 15 日（日）
- ・プログラム確定：10 月 18 日（金）頃を予定
- ・発表論文提出期限：11 月 4 日（月・祝）
- ・参加申込期限：11 月 4 日（月・祝）

## 8. 2020 年度 第 10 回アジア地域科学セミナーの開催について

\*大澤会長より，日程，場所，実行委員などが報告された。

## 9. Spatial Economics Association Asian (SEAA)の設立について

\*大澤会長より，中国側から新たな学会を作りたいという動向が報告された。



### ARSC 会員現勢

2019年7月31日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 478名(内、一般会員 413名, 学生会員 55名, 海外会員 5名)

賛助会員 5団体(総口数7口)。

### 事務局からのお願い

- ◆ 会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ (<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc>) にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。
- ◆ 地域科学関連分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲におられましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込はARSCのホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行えます。入会に関するお問い合わせは、ARSC事務局でメール ([clerk@arsc.org](mailto:clerk@arsc.org)) 対応いたします。
- ◆ 事務局やニュースレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、是非、お知らせください。

### 編集 後記

「長い梅雨のトンネルを抜けると、そこは真夏日だった」というように暑い日が続いています。会員の皆様におかれましても、熱中症や脱水には十分お気をつけください。私個人はロシア留学から帰国してすぐの8月、体調が悪くなり、病院に行くと「脱水だね」と言われました。1日どのくらい水を飲んでいるか聞かれ、ペットボトル1本くらいと答えたところとても怒られたことを覚えています。「スーパーモデルは1日に2リットル水を飲むのよ!」と言われて、スーパーモデルにならなくてもいいけど・・・とは思いましたが、環境省熱中症予防サイトによると、飲料として摂取すべき(食事等除く)水分量は1日当たり1.2リットルだそうです。(AM)

### ARSC NEWS No.100 (2019年8月発行)

発行元 応用地域学会事務局 (文部科学省学会コード=10023)

会長: 大澤 義明

ARSC NEWS 担当: 奥村 誠 (副会長) / 曾 道智 (渉外担当幹事) / 光井 明日香 (事務局)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町126 NITTOビル (株)メッツ研究所内

TEL: 03 (5227) 7804 / FAX: 03 (5227) 7807

Email: [clerk@arsc.org](mailto:clerk@arsc.org) / 学会 HP: <http://www.arsc.org/jp/>